



PROFILE
見世 ちづるさん

日野高校家庭科教師。
今日も生徒たちと一緒に地域の素材を
生かしたオリジナルメニューを考案中。

地域に愛される学校づくりを考
える上で、地域との連携は欠かせ
ないものです。日野町をはじめ、
地域や行政が日野高に関心を持
ち、一緒に盛り上げてくれている
のを強く感じています。

特に、片平さんが、課題研究
など従来のカリキュラムのバー
ジョンアップを図ってくれてい
ますが、それに限らず、部活動
などでの生徒の活躍を取り上げ、
地域と高校をつないでくれてい
ます。

学校現場からみると、成果がな
かなか形になって現れにくいもの
です。しかし、新聞や広報紙など
で取り上げられたり、地域の人か
らの声を聞いたりすると、生徒と
地域の人の距離が近くなってい
くと感じうれしそうです。

反面、地域連携に積極的に取り
組む中で、学校側がそれを生かし
切れていないと感じる部分もあり
ます。マナーや礼儀作法など、指
導が行き届かず、地域の皆さんに
迷惑をかけることもあります。そ
んな時は、しっかりと叱ってもらい、
叱咤激励していただきたいです。
その上で、学校も地域も共に力を
合わせて生徒を育てていきたいと
考えます。

生徒の可能性は無限大です。し
かし、その可能性を広げるために
は、学校だけでは足りない部分
があります。そこに「地域の力」と
いうスパイスを加えることで、そ
の可能性は何倍にも何十倍にもな
ると信じています。これからも地
域と力を合わせ、魅力ある高校を
目指していきます。

協働して生徒の力を伸ばしたい



PROFILE
手島 由香里さん

カフェテリア・アペゼ店員。
江府町在住。日野高生と日野町内で採れ
たニホンミツバチのハチミツを使った焼
きドーナツなどを共同開発。

地域に関心を持つきっかけに

コーディネーターの片平さん
の「ハチミツを使ったドーナツを
考案してほしい」という一言から
日野高との連携が始まりました。
私自身、根雨高出身者という
こともあり、生徒数の減少など
で「母校が無くなってしまおうの
では」と心配していました。そ
んな時、課題研究の授業でドー
ナツの共同開発の話聞き、少
しでも皆さんに興味をもって
らい、高校の魅力化につながっ
てくれればうれしなと感じて
いました。

それ以来、課題研究の授業や
職場体験などで、生徒の皆さん
と接することが多くなりました。
最初は、あまり良いイメージは
なかったのですが、実際に話し
てみると、素直に話を聞いてく

れたり、自分から率先して作業
を手伝ってくれたり、とても
好印象でした。

地域との連携による一番の目
標は、「まずは高校の存続」で
す。その中で、私たちが高校や
生徒たちに関心を持ったように、
生徒たちも地域に関心を持ち、
将来、この地域に就職してくれ
るきっかけにもなってほしいと
願っています。

今は、生徒とエゴマを使った
ドーナツを共同開発中です。大
事なのは、「自分で作る感覚」を
持つことです。競争心や向上心
を持って取り組めば、きっと高
校全体だけでなく、地域にも伝
わるはず。今後も、日野高
の魅力アップのため、一緒に頑
張っていききたいですね。

地域連携の可能性を考える。

魅力ある高校づくりを支える人たちがいます。
教員や地域のサポーター、そしてそこで学ぶ生徒たち。
皆さんに「日野高の魅力化」「地域連携の可能性」について話を聞きました。



PROFILE
北崎 虎雅さん

日野高校3年生。
陸上部主将として、地域で健康ストレッチ
講座を開くなど、積極的に交流。これまで
も生徒会長を務めるなど学校の盛り上げ役。

私が1年生の時から片平さん
が学校と地域とをつなぐ仕事を
されていますが、とても積極的
で高校や地域を良くしたいとい
う気持ち強く感じました。そ
の積極的な姿勢が、生徒に好か
れる理由だと思いますし、学校
では、片平さんの周りに自然と
生徒たちがついてきます。

昨年、町広報紙への掲載や健
康ストレッチ講座を開催した時
も、独創的な発想でいろいろな
提案をもらい、心強かったです。
です。入学したころから、地域
に対して何か貢献したいと考え
ていましたので、とても良い経
験になりました。

また、課題研究やフィールド
ワークなど、3年間、地域での
さまざまな経験を通して、とて

も日野町の人が好きになりまし
た。ここでは、皆さんと気持ち
よくあいさつもでき、一つの大き
なチームのように思えました。
だからこそ、みんなが力を合わ
せれば、どんな壁でも乗り越え
られるし、地域ももっと輝ける
と思います。

私ももうすぐ卒業を迎えます
が、将来は、人を笑顔にできる
ような職業につきたいと考えて
います。そう思えたのは、片平
さんが近くで、地域のことなど、
高校では決して教わることがで
きない広い世界をみせてくれた
からです。

卒業後も、3年間で経験した
ことを生かして、片平さんと協
力しながら、少しでも地域と高
校を良くできたらうれしいです。

人を笑顔にしたいと思えるように



PROFILE
高田 昭徳さん

福岡県出身。平成22年から日野町に1
ターン就農。現在は、家族3人で、日野
町の豊かな自然を生かしたおいしい米作
りに励む。

厳しくも温かく見守っていききたい

これまで職場体験やフィール
ドワークなどで多くの生徒とか
かわってきました。その中で、
生徒には個性や自主性をもっと
出してほしいと思います。学校
であらかじめ決められたあいさ
つや言葉だけを話すのではなく、
自分でもっと考えて行動できる
ようになってほしいですね。そ
うすれば、地域ももっと日野高
や生徒に興味を持つようになる
はずです。

コミュニケーション能力やマ
ナーなど、現在の日野高校の平
均値は高いとは言えません。こ
れまでも片平さんや生徒などに、
厳しい意見を言うこともありま
したが、それでも高校・生徒と
付き合い続けていくことが大切
だと考えています。それこそが、

「地域で生徒を育てる」というこ
とではないでしょうか。

日野高校には、将来、自分の
子どもが、「日野高校に行きたい」
と言えるような高校になってほ
しいと願っています。そのため
には、例えば、「農業では日本一」
といえるような個性を伸ばして
いく必要があると思います。特
に、アグリライフ系列は県西部
では唯一の農業コースです。私
も農家の一人として、職場体験
などで農業の魅力を伝え、日野
高の魅力を伸ばす手助けをして
いきたいですね。

高校の魅力化の先は、まちの
活性化へとつながっています。
まずは、先生も生徒も地域に興
味を持ってもらうことです。み
んなで盛り上げていきましょう。